



人権マガジン

2018年1月

インターネットと人権

SNSによる「いじめ」



SNS（会員制交流サイト）を利用したパソコンや携帯電話による「いじめ」が全国の学校で増えています。例えば、特定の個人に対して大勢がひどい言葉を書き込み、ののしる場合があります。ものすごい言葉を大量に浴びせられた子どもは、精神的に追い込まれてしまいます。親にも先生にも友達にもなかなか相談できず、不登校につながる事例も起きています。

また、表向きは友達同士でも、「いじめ」に加わらないと排除されると思いこみ、仕方なく「いじめ」に加わっている子どももいます。「いじめ」に気付いた子どもの中には、「学校へ連絡してバレると仕返しされるから」「学校のことで親に迷惑かけたくないから」と悩んでいる子どももいます。

全国で1万件以上

文部科学省の調査によると、全国の学校で認知された「いじめ」は32万3808件（前年度22万5132件、43.8%増）でした（平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」速報値）。そのうち、パソコンや携帯電話による「いじめ」の認知件数は1万7834件（前年度9187件）でした。その内訳は小学校2683件、中学校5723件、高等学校2230件、特別支援学校138件となっています。これは確認されたものだけですから、実際はこれ以上の「いじめ」が起きていると見なければなりません。

一人で悩まず、まず相談

香川県教育委員会は、SNSによる「いじめ」など人権侵害の被害を防止するために相談窓口を設けています。「一人で悩まず、まず相談してみましよう」と県教委では呼びかけています。

■24時間いじめ電話相談

いじめに悩む子どもや保護者の方が24時間、いつ



でも相談できます。

☎087-813-1620、あるいはフリーダイヤル0120-0-78310（24時間子どもSOSダイヤル）通話料無料

■子どものネットトラブル相談

SNSなどによる誹謗中傷やネットいじめなどの相談に応じます。

相談時間は月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9時～17時

☎087-813-3850

（イラストは香川県人権啓発推進会議のポスター）